

製品安全データシート

作成日： 2009年2月12日

改訂日：

整理番号 1C1C-300M-172001

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	ボンド アロンアルファ 一般用
会社名	： コニシ株式会社
住所	： (〒541-0046)大阪市中央区平野町2-1-2
問い合わせ窓口・緊急連絡電話番号	： (昼間)技術部 電話06-6228-2994 (大阪) 03-5259-5744 (東京) ： (夜間)緊急用 電話090-7356-6462
奨励用途及び使用上の制限	： 金属・合成ゴム・硬質プラスチック・陶器の急ぎ接着 所定の用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類情報(日本)*	： GHS分類データ未作成
化学物質等の分類(日本方式*1)	： 分類基準に該当しない
危険性	： 可燃性の液体 高温になると引火、燃焼しやすくなる。 水や塩基性物質に接触すると急速に重合し、発熱する。 皮膚や衣類に多量に付着すると、重合による発熱で火傷する事がある。
有害性	： 揮発分は、目、鼻、のどなどに対し刺激性がある。
特定の危険有害性	： 知見なし

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別	： 混合物
化学名(一般名/別名)	： シアノアクリレート系接着剤
成分及び含有量(危険有害物質対象)	： P R T R法などの法規制上で求められる詳細含有量は第15項で示す。

成分名	CAS No.	化審法No.	含有量%	PRTR法指定	労安法通知	その他情報
2-シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	2-2789	95以上	該当せず	番号205	知見なし
ヒドロキノン	123-31-9	3-543	1未満	第1種-254	番号461	知見なし

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	： 拭き取れる分はすぐに拭き取り、硬化したものは無理にはがさず、お湯の中でゆっくりもみほぐしながら、はがす。または、専用のはがし液やアセトンを使用する。発疹など異常がある場合は速やかに医師の診察を受ける。 直ちに多量の流水で15分間以上洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
目に入った場合	： 硬化物が目を傷つけるおそれがあるため、目をこすったり、触ったり、自分ではがそうとせず、必ず医師の処置を受けること。
飲み込んだ場合	： 水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させない。
応急措置をするものへの保護	： 救助者は状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	： 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	： 粉末、二酸化炭素、泡。
使ってはならない消火剤	： 棒状注水
火災時の特有の危険有害性	： 水に接触すると急速に重合し、発熱する。
特定の消火方法	： 付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上から消火する。
消火を行う者の保護	： むやみに近寄らず、離れた場所から消火活動に当たる。
医師に対する特別注意事項	： 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	： 多量に漏出した場合は措置に当たる者は適切な保護具を着用する。
保護具	： 保護手袋、保護マスク
緊急措置	： 気分が悪くなったり、異常を感じた場合は直ちに現場を離れ、異常が続く場合は医師の手当てを受ける。
回収, 中和, 封じ込め方法等	： 少量の場合：手指などに付着しないよう気をつけながらウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 火気厳禁
 - 取扱者の暴露防止 : 取扱いは、換気の良い所で行う。皮膚を瞬間に強力に接着するため、取扱い中は皮膚に触れないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、不浸透性保護手袋、保護眼鏡等を着用する。取扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
 - 火災及び爆発の防止 : 周囲で火気の使用を禁止する。
- 保管
- 技術的対策（保管条件） : 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管する。また使用後は密封する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度ほかの管理指標（危険有害物質対象）

成分名	管理濃度	許容濃度 ¹⁾	発がん性 ¹⁾	その他の有害性
2-シアノアクリル酸エチル	設定なし	許容濃度：未設定 ACGIH：0.2ppm(TWA)	設定なし	LD50経口>5000mg/kg LD50経皮>5000mg/kg
ヒドロキノ	設定なし	許容濃度：未設定 ACGIH：(1mg/m ³)(TWA)	設定なし	LD50経口593mg/kg LD50経皮74800mg/kg 変異原性の恐れあり。

注1)日本産業衛生学会勧告2008

- 設備対策 : スプレーミストや蒸気が発生する作業場では局所排気設備を設置する。取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 適切な保護具
- 呼吸器系の保護具 : 臭気が気になる場合は脱臭効果のあるマスク着用。長時間の作業の場合は有機ガス用防毒マスク
 - 手の保護具 : 労働衛生保護手袋（直接触れることがある作業の場合）
 - 目の保護具 : 保護眼鏡（飛び跳ねる可能性がある場合）
 - 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、必要に応じ保護服及び保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態 形状 : 液状
- 色 : 無色透明
- 臭気 : 溶剤臭
- pH : 該当せず
- 融点・軟化点 : -29.6 : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 190 以上(常圧)、60~62 (667Pa) : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 引火点 : 85 以上(クランプ付開放式) : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 爆発特性 : データなし
- 蒸気圧 : 1Pa(25) : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 蒸気密度（空気 = 1） : データなし
- 密度（g/cm³） : 1.05 (20) : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 溶媒に対する溶解性 : 水に不溶、有機溶剤に可溶
- オクタノール/水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : 485 以上 : 2-シアノアクリル酸エチルとして
- 分解温度 : データなし
- 臭いのしきい（閾）値 : データなし
- 蒸発速度（酢酸ブチル = 1） : データなし
- 燃焼性（固体、ガス） : データなし
- 粘度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 容器に密閉された状態では安定。
- 反応性 : 水分を触媒として急激に重合する。その他熱、直射日光、金属により重合反応をおこすおそれがある。
- 危険混載物質 : 水、アミンのような塩基性化合物や専用の硬化促進剤と接触したり、異物が混入すると、発熱を伴い、急激な重合反応を起こす。
- 危険有害性のある分解生成物 : 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

1 1 . 有害性情報

一般的な有害性	
急性毒性	: 8 . 暴露防止及び保護措置項参照
局所効果	: 皮膚, 眼に対し弱い~中程度の刺激性あり
感作性	: 感作性皮膚炎を生じる
慢性毒性・長期毒性	: 知見なし
特定の影響	: 2 . 危険有害性の要約参照 (8 . 暴露防止及び保護措置項にも情報記載)

1 2 . 環境影響情報

生態毒性・水生生物への有害性等	: 知見なし
残留性・分解性	: 情報なし
生物蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動度	: 情報なし
その他の有害影響	: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

1 3 . 廃棄上の注意

業務用に使用の場合

以下の情報を参考に分別の上、自社による処理または許可を受けた専門業者に処理を委託してください。詳細は法律（廃掃法および容器包装リサイクル法）ならびに地方自治体の基準に従ってください。

種類別注意	: 本製品の廃液は廃油と廃プラスチック類の混合物(管理型産廃)に分類される。70 以下の引火性成分を含む場合は特別管理型産廃に分類される。乾燥物は廃プラスチック類(安定型産廃)に分類される。
容器・包装の廃棄	: 空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。()に管理型・安定型の区分を示す。 外箱、紙管など紙製容器・包装: 回収又は紙くずとして処理(単体で管理型産廃、付着成分がある場合も管理型産廃) 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類: 金属くずとして処理(単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う) プラスチック製のボトル、チューブ、袋など: 廃プラスチックとして処理(単独で安定型産廃、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)

工作用としての使用の場合

地方自治体の基準に従って一般廃棄物として処理してください。容器包装リサイクル法に登録済です。

一般廃棄物としての廃棄処理	: チューブや少量プラスチック容器製品で一般廃棄物とする場合は次のように分別し、回収又は廃棄処分する。 普通ごみ・可燃物(紙類、プラスチック・ゴム) 普通ごみ・不燃物(金属、ガラス・陶磁器) 普通ごみ・不燃物(雑物)
---------------	---

1 4 . 輸送上の注意

国連分類・番号	: 非該当
国連輸送品名	: 非該当
海洋汚染物質該非	: 該当せず
輸送の特定の安全対策及び条件	: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。
陸上	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上	: 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空	: 航空法に定めるところに従うこと。
緊急時措置指針番号	: - (容器イエローカード指針番号)

15. 適用法令

法規制	:	化学物質管理促進法（P R T R法）及び労働安全衛生法57条の2通知物質の該否については3.組成,成分情報内にも示す。なお,物質名は同一物質でも法令毎に異なる場合があるが区別せず,原則として慣例名称を用いた。
化審法	:	該当せず
高圧ガス保安法	:	該当せず
消防法 危険物品名	:	第4類第3石油類(非水溶性) 危険等級
労働安全衛生法	:	法57条2通知対象物質 2-シアノアクリル酸エチル(番号205),ヒドロキノン(番号461)
	:	令別表1-4危険物 該当せず
	:	特定化学物質等障害予防規則 該当せず
	:	有機溶剤中毒予防規則 該当せず
	:	鉛中毒予防規則 該当せず
	:	石綿障害予防規則 該当せず
	:	粉塵障害予防規則 該当せず
	:	法28条3指針公表物質 該当せず
	:	変異原性物質 該当せず
	:	腐食性液体 該当せず
作業環境測定法	:	該当せず
じん肺法	:	該当せず
毒物劇物取締法	:	毒物; 該当せず
	:	劇物; 該当せず
化学物質管理促進法（P R T R法）	:	該当せず
船舶安全法危規則	:	該当せず
航空法危険物規則	:	該当せず
悪臭防止法	:	特定悪臭物質:該当せず
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質:ヒドロキノン
土壤汚染防止法	:	該当せず
土壤汚染対策法	:	特定有害物質:2-シアノアクリル酸エチル
水質汚濁防止法	:	水質汚濁有害物質:2-シアノアクリル酸エチル(0.1mg/L(CN))
水道法	:	該当せず
下水道法	:	下水道法水質基準物質:2-シアノアクリル酸エチル
廃棄物処理法 (特管廃棄物)	:	特定有害物質:2-シアノアクリル酸エチル 製品のまま廃棄する場合は[特別管理産業廃棄物]に相当する
輸出貿易管理令	:	輸出貿易管理令別表1規制貨物:16項キャッチオール規制該当。1項~15項については 項目名 該当せず
	:	輸出貿易管理令別表2承認品目: 項目名 該当せず
[輸出貿易管理令関係国際条約法]		
化学兵器禁止法	:	該当せず
バーゼル法/三省告示特定有害廃棄物 注意:製品としてではなく廃棄物として輸出入される際のみ適用されます	:	特定有害廃棄物 該当せず
麻薬及び向精神薬取締法原料物質	:	該当せず
オゾン層保護法	:	該当せず
PIC条約	:	該当せず
P O P s	:	該当せず

製品名 アロンアルファ 一般用

16. その他の情報

参考文献 : JIS Z 7250-2005 化学物質安全データシート (MSDS)
安全衛生情報センターHP <http://www.jaish.gr.jp/index.html>
管理濃度：作業環境評価基準 (2004.10改訂、2005.4.1施行) 適用
日本産業衛生学会：許容濃度の勧告(2008)
化学工業日報社「化学品安全管理データブック」
特定化学物質等作業主任者テキスト

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
以前にお渡しした本製品の製品安全データシートをお持ちの方は破棄して下さい。
法改正や製品の改良によりMSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか御確認下さい。

MSDS伝達の経路：製品安全データシート(MSDS)は原則として次の経路で最終取扱事業者様に伝達されます。恐れ入りますが、未入手の場合のMSDSの御請求や最新版の問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出下さい。

メーカー	代理店	取扱い事業者
------	-----	--------

【改訂履歴】

2009年2月

: JIS Z 7250-2005 使用開始 (労働安全衛生法通知物質新裾切り値対応)